

復活のキリストの現れ①

イエスは、苦しみ（死・埋葬）を受けた後  
数多くの確かな証拠をもって

ご自分が生きていることを

使徒たちに示された。

（復活後）40日にわたって、彼らに現れ  
神の国のことを語られた。

使徒一章3節

キリストは、だれに現れたのか？

復活したイエスの現れ

1. 女たちが、墓を訪ねてくる
2. マグダラのマリヤに現れる
3. ペテロに現れる
4. クレオパともう一人の弟子に、現れる
5. 弟子達に現れる。トマス不在
6. 弟子達に再度現れる。トマス含む
7. イエスの兄弟ヤコブに現れる

復活したイエスの現れ

2. マグダラのマリヤに現れる
3. ペテロに現れる
4. クレオパともう一人の弟子に、現れる

## 今回のポイント

1. キリストは、ご自身を愛する者に

2. キリストは、悲しみ、後悔する者に

3. キリストは、困惑しつつも

キリストを求める者に

現れた

キリストは

ご自身を愛する者に現れた

マグダラのマリヤ

キリストは、マグダラのマリヤに  
最初に現れた

週の初めの日の朝早くによみがえった

イエスは、**まず**

**マグダラのマリヤに**

ご自分を現わされた。

イエスは、以前に、この女から

**七つの悪霊を追い出された**

のであった。

マルコ一六章九節

イエスは、神の国を説き、  
その福音を宣べ伝えながら  
町や村を次から次に旅をしておられた。  
十二弟子もお供をした。

また

悪霊や病気を直していただいた女たち  
すなわち

七つの悪霊を追い出していただいた  
マグダラの女と呼ばれるマリヤ

ヘロデの執事クレーザの妻ヨハンナ、スザンナ、  
そのほか自分の財産をもって  
彼らに仕えている大ぜいの女たちも  
いっしょであった。

## 十字架の下にいた

そこには、遠くからながめている女たちが  
たくさんいた。

イエスに仕えてガリラヤからついて来た  
女たちであった。

その中に、マグダラのマリヤ、ヤコブとヨセフ  
との母マリヤ、ゼベダイの子らの母がいた。

マタイ 27章 56節

(マルコ 15章 40節、ヨハネ 19章 25節)

## イエスの埋葬を見届けた

そこで、ヨセフは亜麻布を買い

イエスを取り降ろしてその亜麻布に包み  
岩を掘って造った墓に納めた。

墓の入口には、石をころがしかけておいた。

マグダラのマリヤとヨセの母マリヤとは

イエスの納められる所をよく見ていた。

マルコ 5章 46〜47節

(マタイ 27章 59〜61節)

復活の朝  
最初に墓を訪れた

さて、安息日が終わって

週の初めの日の明け方、マグダラのマリヤ  
ほかのマリヤが墓を見に来た。

マタイ 28章 1節

週の初めの日に、マグダラのマリヤは  
朝早く、まだ暗いうちに墓に来た。

そして、墓から石が取りのけてあるのを見た

ヨハネ 20章 1節

## イエス、マリヤに現れる

彼ら（み使い）は、彼女に言った。

「なぜ泣いているのですか。」

彼女は言った。

「だれかが、私の主を取って行きました。」

どこに置いたのか、私にはわからないのです。」

彼女はこう言ってから、うしろを振り向いた。

すると、イエスが立っておられるのを見た。

しかし、彼女にはイエスであることが

わからなかった。

イエスは、彼女に言われた。

「なぜ泣いているのですか。」

だれを捜しているのですか。」

## イエス、マリヤに現れる

彼女は、それを園の管理人だと思って言った。

「あなたが、あの方を運んだのでしたらどこに置いたのか言ってください。そうすれば、私が引き取ります。」

イエスは、彼女に言われた。

「マリヤ。」

彼女は振り向いて、ヘブル語で

「ラボニ」と、イエスに言った…

キリストは、

悲しみ、後悔する者に現れた

ペテロ

ペテロは

イエス・キリストを、3度否んだ

・・・それから一時間ほどたつと  
また別の男が  
「確かにこの人も彼といっしよだった。  
この人もガリラヤ人だから」と  
言い張った。

しかしペテロは  
「あなたの言うことは私にはわかりません」  
と言った。

それといっしよに  
彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。  
主が振り向いて、ペテロを見つめられた。  
ペテロは

「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは  
三度わたしを知らないと言う」  
と、言われた主のおことばを思い出した。

彼は、外に出て、激しく泣いた。

・シモン、シモン。見なさい。  
サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。

しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら兄弟たちをカづけてやりなさい。」

シモンはイエスに言った。

「主よ。ごいっしよになら、牢であろうと死であろうと、覚悟はできております。」

しかし、イエスは言われた。

「ペテロ。あなたに言いますが

きょう鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

人を恐れるとわなにかかる。

しかし

主に信頼する者は守られる。

箴言 29章 25節

…

すぐさま、ふたりは立って

エルサレムに戻ってみると

十一使徒とその仲間が集まって

「ほんとうに、主はよみがえって

**シモン**にお姿を現わされた」

と、言っていた。

ルカ 24章 33〜34節

私があなたがたに最もたいせつなこと  
として伝えたのは

私も受けたことであって、次のことです。

キリストは、聖書の示すとおりに

私たちの罪のために死なれたこと

また、葬られたこと

聖書に従って三日目によみがえられたこと

ケパ(ペテロ)に、現われ

それから、十二弟子に現われたことです。

1. キリストは、ご自身を愛した

マグダラのマリヤに現れた。

2. キリストは、

悲しみ、後悔したペテロに現れた。

キリストは

困惑しつつも

キリストを求める者に現れた

エマオ途上の弟子たち

ちょうどこの日、**ふたりの弟子が**

エルサレムから十一キロメートル余り離れた  
エマオという村に行く途中であった。

そして、ふたりでこのいっさいの出来事  
について話し合っていた。

話し合ったり、論じ合ったりしているうちに  
イエスご自身が近づいて

彼らとともに道を歩いておられた。

しかし、ふたりの目はさえぎられていて  
イエスだとはわからなかった。

歩きながら  
ふたりで話し合っている  
その話は、何のことですか。



ナザレ人イエスのことです。

この方は、神とすべての民の前で、行ないにもことばにも力のある預言者でした。

それなのに

私たちの祭司長や指導者たちは

この方を引き渡して

死刑に定め、十字架につけたのです。

しかし私たちは、この方こそイスラエルを贖ってくださるはずだと、

望みをかけていました。

事実、そればかりでなく

その事があってから三日目になりますか

また

仲間の女たちが私たちを驚かせました。

その女たちは朝早く墓に行ってみましたが  
イエスのからだが見当たらないので  
戻って来ました。

そして、御使いたちの幻を見たが  
御使いたちがイエスは生きておられると  
告げた、と言うのです。

それで  
仲間の何人かが墓に行ってみたのですが  
はたして女たちの言ったとおりで  
イエス様は見当たらなかった  
というのです……

ルカ 24章 19 ～ 24節

イエスは言われた。

「ああ、愚かな人たち。

預言者たちの言ったすべてを信じない  
心の鈍い人たち。」

キリストは、必ず、そのような苦しみを  
受けて、それから、彼の栄光に入るはず  
ではなかったのですか。」

それから

イエスは

モーセおよびすべての預言者から始めて  
聖書全体の中で

ご自分について書いてある事からを  
彼らに説き明かされた。

そこで、ふたりは話し合った。

「道々お話しになっている間も

聖書を説明してくださった間も

私たちの心は

うちに燃えていたではないか。」

みことばの戸が開くと

光が差し込み

わきまえない者に悟りを与えます。

詩篇 119 章 130 節

キリストは

聖書全巻の中心、太陽である。

私たちは、キリストに目を留めてさえいれば  
聖書の意味を探究する上で  
大きな誤りはしない。

しかし、キリストを見失えば  
全聖書は、暗黒に閉ざされ  
難解な書物に終わるであろう。

それゆえ

聖書の理解のかぎは、イエス・キリスト  
である。

ライル博士

彼らとともに食卓に着かれると  
イエスは。パンを取って祝福し  
裂いて彼らに渡された。

それで、彼らの目が開かれ  
イエスだとわかった。

するとイエスは、彼らには見えなくなった。  
そこでふたりは話し合った。

「道々お話しになっている間も  
聖書を説明してくださった間も  
私たちの心は  
うちに燃えていたではないか。」

## 信仰が動揺する時…

- ① よき信仰の友を持ちましょう (クレオパのように)
- ② キリストを交わりの中心としましょう
- ③ キリストに語っていただきましょう
- ④ キリストについて、考え続けましょう
- ⑤ みことばにより、心を燃やされましょう

## 本日のまとめ

1. キリストは、ご自身を愛する者に

2. キリストは、悲しみ、後悔する者に

3. キリストは、困惑しつつも

キリストを求める者に

現れる